

第76回 定例研究会 2月17日(金) 於:静岡県評会議室

いま医療問題を考える

鈴木英治氏(静岡県社会保障推進協議会 事務局長)から「いま医療問題を考える」として報告頂きました。

「税と社会保障の一体改悪」のネライ

政府が進めている「税と社会保障の一体改革」は、さらなる社会保障の「改悪」をもたらすと同時に、消費税の大増税により、国民に深刻な負担を強いることとなります。大企業や高額所得者など、支払能力のある所から税金を負担することが必要です。

(1) 国保資格証明書問題

2011年度自治体「アンケート」の結果から、資格証明書発行の方の受診率が極端に低い状態が見られます。一般保険証の方の受診率が100%(月1回/1人受診)前後なのに対し、資格証明書発行の方の受診率は2%程度(5年に1回/1人受診)となっています。

(2) 医療・介護相談・無料低額診療所利用

全日本民医連が2011年12月に発表した「医療費・介護費相談及び無料低額診療事業利用者分析調査報告」では、最近の特徴として「稼働層へ貧困が拡大している」と指摘されました。保険料を納めていても、貧困のため受診できないケースが増えています。

(3) 医療・介護保険料の値上げラッシュ

静岡市では現在、国民健康保険料の3割もの大幅な値上げが計画されています。所得200万円2人世帯で、年間7万8千円もの値上げになります。

(4) 医師問題

現在の新医師臨床研修制度はマッチングシステムとなっており、地方の医師が足りなくなっている一因となっています。静岡県は全国で42番目となっています。

第43回 浜松支所 所員会議 2月23日(木) 於:西部地区労連

今後のテーマについて議論

現在進めている労働時間調査のアンケートについて、労働相談の人も含め、引続き、集めていくことが確認されました。

今後の研究テーマとして、前回提起された「スズキ、ホンダについて国内産業空洞化を分析すること」との関連で、議論が行なわれました。「これまでの研究成果において、どういう点が抜けていたかを確認し、見直して見る必要がある」「産業空洞化についても、それが職場でどのように現れているかという視点が大切」「経営実態をいろんな角度から捉える」等々、指摘されました。

【今後の日程】

3月16日(金) 18:30~20:30

3月定例研究会 於:県評会議室

『静岡方式で行こう!!』青少年就労支援ネットワーク静岡の活動紹介

3月19日(月) 18:30~20:30

第49回理事会 於:県評会議室

4月14日(土) 13:30~16:30

春のシンポジウム 於:静岡労政会館
「就労支援の現状と課題」

*連絡先: ☎422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 コハラサウスサイドビル 7F

静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>